

教育長メッセージ ～部活動等への対応について～

生徒の皆さんへ

令和3年5月13日(木)に、県立高校の運動部活動において、新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生しました。

全国的にも感染力の強いウイルスによる感染拡大が続き、学校や部活動における感染が報じられる中、県内の学校で二度とクラスターを発生させないためにも、部活動における感染防止対策の徹底が必要であると考え、全ての県立高校で部活動を一旦停止することとしました。そして、専門家チームによる当該高校でのクラスター発生状況等の分析結果や専門家の意見を踏まえ、学校における感染防止対策(ガイドライン)を改正し、生徒の皆さん自身にも感染防止に向けた取組の必要性、重要性を考えていただくとともに、先生方とともに感染防止対策の点検、確認をお願いしたところです。

また、併せて5月下旬から予定されていた県高校総体等の大会についても、安全確保の観点から主催者である県高体連や県高文連に延期をお願いしたところであり、生徒の皆さんやご家族の「命と健康」を守るための感染防止対策を十二分に徹底したうえで、これまで皆さんが仲間とともに積み上げてきた活動の成果の場を設定していただいたところです。生徒の皆さんにおかれては、5月下旬の大会を目標にしてこられたところであり、急遽の日程延期となったことは、戸惑いとともに調整に苦慮されたことと思いますが、どうか変更の趣旨を理解いただくとともに、日程変更にご尽力いただいた関係者の皆様、また保護者や地域の皆様にもお詫びと感謝を申し上げます。

昨年度は、全国的に緊急事態宣言が発令される中、すべての県大会や全国大会等が中止となりました。皆さんも含め、卒業された先輩たちも本当に無念の思いで一杯であったと思います。改めて言うまでもなく、部活動には、授業や行事では学ぶことができない向上心や忍耐力などの人間力を高めるとともに、仲間との絆を強め、自分を磨き高める大きな力があります。そして、3年間の活動だけでなく、将来の自分の生き方の礎にもなり得る貴重な体験でもあります。今年は、開催延期により各競技分散開催とはなりましたが、感染防止対策をしっかり徹底したうえで、昨年度の代替大会のテーマであった「2020夏 仲間とともに それぞれの夢への挑戦」を思い出していただきながら、涙された先輩方の思いの分まで、皆さんが日々の活動をとおして積み上げてこられた熱い思いを存分に発揮していただき、今年もまた生涯忘れ得ない大会となることを心から祈念しています。

令和3年5月25日

鳥取県教育委員会 教育長 足羽英樹

<部活動再開に向けたステップ>

【ステップ1】教職員・生徒の意識改革

- ・県立学校長会を臨時に開催して、感染防止対策の必要性を周知徹底
- ・新型コロナウイルス感染症に関する職場研修の実施
- ・クラスター専門家チームの報告書を参考にするとともに、専門家の指導を踏まえ、「部活動ガイドライン」を改正

【ステップ2】ガイドラインに基づき各学校における感染防止対策の確認

- ・生徒自身に考えさせる機会を設定。生徒と顧問とで、各部活動における感染防止対策の確認
- ・管理職による各部活動における感染防止対策の確認
- ・県教育委員会事務局職員による各学校の感染防止対策の確認

【ステップ3】非接触の練習(個人的な練習)のみ開始(時間、練習日制限厳守)

- ・接触を伴わない個人的な練習のみ開始し、感染防止対策を確認
- ・管理職による活動状況及び感染防止対策徹底の確認
- ・県教育委員会事務局職員による各学校の感染防止対策の確認

【ステップ4】接触型練習(チームプレー練習)への移行(時間、練習日制限厳守)

- ・管理職による活動状況及び感染防止対策徹底の確認

※ステップ2～4において、それぞれ対策が不十分であれば活動再開は認めない。

<活動再開の留意点>

- ・部活動再開後も、令和3年5月31日(月)までは、平日の活動は2時間以内とし、週休日のうち1日は休養日を確保し、週休日の活動時間は3時間以内。
- ・県内、県外又は対戦相手の如何にかかわらず、全ての試合等を、当面の間中止。